

訂正情報

『ビジネスデータサイエンスの教科書』(第1刷 2020年7月26日発行)の内容に関して、以下のような誤記がございました。多箇所にわたる誤植でお客様にご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

正しくは以下ようになります。

2023年9月1日

◆13 ページ、1～5行目

【誤】

```
> plot (price ~ make, data=trucks) ## a boxplot
> plot(price~miles, data=trucks, log="y", col=trucks$make) ##
  in color
> ## add a legend (colors 1,2,3 are black, red, green)
> legend ("topright", fill=1:3, legend=levels (trucks$make))
```

【正】

```
> boxplot (price ~ make, data=trucks) ## a boxplot
> plot(price~year, data=trucks, log="y", col=trucks$make) ##
  in color
> ## add a legend (colors 1,2,3 are black, red, green)
> legend ("opleft", fill=1:3, legend=levels (trucks$make))
```

◆同じく 13 ページ、8行目

【誤】

```
> fit <- glm(log(price) ~ make + miles + price, data=trucks)
```

【正】

```
> fit <- glm(log(price) ~ make + miles + year, data=trucks)
```

◆26 ページ、8行目

【誤】(大文字になっている)

```
> S <- sd(smallsamp) # sample variance
> S
```

【正】 (小文字が正しい)

```
> s <- sd(smallsamp) # sample variance  
> s
```

◆32 ページ 図 1.11 のキャプション

【誤】 比較のために図 1.10 を

【正】 **比較のために図 1.9 を**

◆35 ページ、式 1.10 と、その 2 行下の式

$$p(\Theta|X) = \frac{p(X|\Theta)\pi(\Theta)}{p(X)} \propto p(X|\Theta)\pi(\Theta)$$

$$p(X) = \int p(X|\Theta)\pi(\Theta)d\Theta$$

◆同じく 35 ページ、下から 6 ~ 5 行目の以下の一文を差し替え

【差し替え前】 この値は Θ に依存しないため、名目上の推定対象 $p(X)$ はベイズ推定においてはほとんど関心がない。

【差し替え後】 Θ は推論の目標となる名目上のパラメータであるが、 $p(X)$ は Θ に依存しないので、ベイズ推定にとってほとんど邪魔である。

◆39 ページ、9 行目、縦ベクトルの表記が正しい

【誤】

$$\beta = [\beta_0, \beta_1, \beta_2, \dots, \beta_p]$$

【正】

$$\beta = \begin{bmatrix} \beta_0 \\ \beta_1 \\ \beta_2 \\ \vdots \\ \beta_p \end{bmatrix}$$

◆41 ページ、5～6行目

【誤】 価格および売上数（「移動された」カートン数。move で表す）に加え、
...

【正】 **価格および売上数（「移動された」カートン数）に加え、...**

◆同じく 41 ページ、図 2.3 の説明

【誤】 ドミニクスにおけるブランドごとの価格と売上数 (move)。どちらの...

【正】 **ドミニクスにおけるブランドごとの価格と売上数。どちらの...**

◆42 ページ 図 2.4 のキャプション

【誤】 各国の輸出額に対する

【正】 **各国の輸入額に対する**

◆45 ページ、式 2.13

【誤】

$$E[y|\mathbf{x}] = \dots + \beta_k x_k + \beta_j x_j \beta_1 + x_j x_k \beta_{jk}$$

【正】

$$E[y|\mathbf{x}] = \dots + \beta_k x_k + \beta_j x_j + x_j x_k \beta_{jk}$$

◆73 ページ、18 行目（コードの 1 行目）

【誤】

```
> null <- glm(FAIL~1, data=SC)
```

【正】

```
> null <- glm(FAIL~1, data=SC, family=binomial)
```

◆95 ページ、下から 9～8 行目

【修正前】

副標本はまったく重複しないことが理想的だ。すなわち、データをおよそ $B=n/m$ 個に分割し、それぞれの独立した分割データからパラメータを求める。ただし、 B を十分に...

【修正後】

副標本はまったく重複しないことが理想的だ。**その場合**、データを $B=n/m$ 個の**ように**分割し、それぞれの独立した分割データからパラメータを求める**こととなる**。しかし、**実際には** B を十分に...

◆102 ページ、最終行 (K=4 に始まる行)

【誤】 3/4

【正】 1/2

◆109 ページ、下から 6 行目

【誤】 図 4.7 から、CV-min ルールでは $\lambda \approx -6$ 地点のパス断面を選択する。

【正】 図 4.7 から、CV-min ルールでは $\log \lambda \approx -6$ 地点のパス断面を選択する。

◆153 ページ、式 6.2 と、そのすぐ下の段落の 2 行目

【誤】

$$y = d\gamma + \mathbf{x}'\boldsymbol{\beta} + \varepsilon, \quad \varepsilon | d, \mathbf{x} = 0,$$

$$d = \mathbf{x}'\boldsymbol{\tau} + v, \quad v | \mathbf{x} = 0.$$

【正】

$$y = d\gamma + \mathbf{x}'\boldsymbol{\beta} + \varepsilon, \quad \mathbb{E}[\varepsilon | d, \mathbf{x}] = 0,$$

$$d = \mathbf{x}'\boldsymbol{\tau} + v, \quad \mathbb{E}[v | \mathbf{x}] = 0.$$

【誤】

コンマの後ろの条件 $\varepsilon | d, \mathbf{x} = 0$ と $v | \mathbf{x} = 0$

【正】

コンマの後ろの条件 $\mathbb{E}[\varepsilon | d, \mathbf{x}] = 0$ と $\mathbb{E}[v | \mathbf{x}] = 0$

◆250 ページ 13~14 行

【誤】 文法は `gml` や `tree` 関数とほぼ同じだ。

【正】 文法は `glm` や `tree` 関数とほぼ同じだ。